

## 超短期海外派遣プログラム（タイ）募集要項

### 募集概要：

本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。本プログラムへの参加は、コースの単位が付与されます（注）。本プログラムは3Qに開講される「グローバル理工人概論4」とセットで実施されます。本プログラムに参加を希望する学生は必ず「グローバル理工人概論4」を履修して下さい。本プログラムと「グローバル理工人概論4」は、1. 現地訪問、2. 遠隔によるグループワーク、3. チュラロンコン大学学生の本学訪問の3つを組み合わせられています。具体的な内容は以下の通りです。

- ① タイの現地訪問では、前半のグループワークや専門家による講義等を含める。また、グループワークのテーマ（スマートシティ）に関連した施設訪問を行う。
- ② 遠隔によるグループワークでは調査結果の共有や相違点について議論を行い、最終提案の準備を行う。
- ③ 2018年12月のチュラロンコン大学学生受入れの際に最終発表を行う。

【派遣先】 タイ（バンコク・プーケット）

【渡航期間】 2018年8月28日（火）～9月6日（木）（9泊10日）

【費用】 約12～13万円（予定）（航空券代、燃料サーチャージ、空港税、現地宿泊費）

\*現地での諸経費（食費等）は上記の費用には含まれません。

\*大学の指定する海外旅行保険に加入してください。

### 【応募資格】

1. 東工大正規課程学生（学士課程2,3,4年生、修士課程の学生）。  
国籍・性別・学年・学科・系・コース等は不問。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている学生を優先する。
  - ① グローバル理工人育成コースの4つの教育プログラムの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
  - ② ポートフォリオに必要事項を記入している。\*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/>

【応募方法】 添付の申請書を留学情報館宛てに提出。

【募集人数】 10名程度（最少催行人数6名に達しない場合、プログラムを中止する場合がある。）

【選考方法】 書類審査及び面接

【応募締切】 2018年5月18日（金）

\*応募に際しては、申請書類に指導教員、またはアカデミックアドバイザー、または助言教員の承認を必ず得ること。

※留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間等を確認の上、応募の可否を自身で判断すること。

\*応募説明会：5月9日（水）、5月16日（水）ともに12:30-13:30 @S421

\*海外派遣プログラム2017年夏合同実施報告会5月9日（水）、5月16日（水）（ともに13:30- @S421）  
のいずれかに参加すること。

【面接予定日】 2018年5月22日（火）頃

### 【事前・事後学習】

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられる。

2018年6月13日（水）書類説明オリエンテーション、危機管理オリエンテーション

2018年6月20日（水）奨学金関連書類提出締切

2018年6月：事前学習1回目（プログラム全般説明、役割分担決定、書類提出）

2018年7月～2018年9月：事前学習2～5回（日程は別途通知）

2018年10月：個別報告会

## 【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象である。以下の基準を満たした学生には7万円が支給される場合がある。（別途書類の提出が必要。必要書類については、選考後の書類説明オリエンテーションで説明する。）なお、学内規定により国費留学生には奨学金の支給はない。

### 奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（独立行政法人日本学生支援機構（JASSO））  
国費以外の留学生（東京工業大学基金）
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること ➡ 学業成績書で確認する。  
下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

（「評価ポイント3の単位数」×3）＋（「評価ポイント2の単位数」×2）＋（「評価ポイント1の単位数」×1）＋（「評価ポイント0の単位数」×0）／ 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満（JASSO規定の計算式に基づく）の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合がある。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者  
（原則として家計基準に合致する者） ➡ 申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

（注）

1. 学士課程2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門1」の単位が付与される（1単位）。
2. 学士課程3年生及び4年生、また修士課程の学生の参加については、「グローバル理工人研修1」の単位が付与される。学士課程4年生の参加については、以下の条件を満たす必要がある。
  - ① 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。
  - ② 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。
- 3 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属学科・系の科目による単位付与が行われる場合がある。
4. 本プログラム参加にあたっては上記1～4に記載されているいずれかの科目を必ず履修すること。
5. 帰国後、本学において単位付与出来ない場合には、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
6. 安全上の理由によりプログラムが渡航延期、中止される場合があり、その際キャンセル料については原則自己負担となる。
7. 宿泊は原則としてツインルームとなる。

## 【問合せ・申請書提出先】

留学情報館（大岡山南6号館4階405号室） メールボックス：S6-13

電話：03-5734-3520 / e-mail: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp

超短期海外派遣プログラム（タイ）及びグローバル理工人概論4 日程案

		行動予定	詳細	宿泊地	
	8/28	火	現地到着	バンコク到着	バンコク
Day 1	8/29	水	講義・グループワーク	バンコク	
Day 2	8/30	木		バンコク	
Day 3	8/31	金	スマートシティに関連した施設訪問(プーケット)	バンコク	
Day 4	9/1	土		プーケット	
Day 5	9/2	日		バンコク	
Day 6	9/3	月		グループワークの研究テーマに沿った施設訪問	バンコク
Day 7	9/4	火	講義・グループワーク	バンコク	
Day 8	9/5	水		バンコク	
	9/6	木	現地発	帰国	
	10/3	水	グループワーク	日本、タイの基礎情報の共有	遠隔
	10/17	水	グループワーク	トピックの現状の共有	遠隔
	10/24	水	グループワーク	日本、タイの共通点、相違点等共有	遠隔
	10/31	水	グループワーク	日本、タイそれぞれの提案の共有	遠隔
	11/7	水	グループワーク	日本とタイの協力関係について議論	遠隔
	12/16	日	チュラ大受入れ	チュラ大メンバー日本到着	東京
	12/17	月	施設訪問	キャンパスツアー、発表準備	東京
	12/18	火	施設訪問	スマートシティに関連した施設訪問、発表準備	東京
	12/19	水	施設訪問	スマートシティに関連した施設訪問、発表準備	東京
	12/20	木	施設訪問	スマートシティに関連した施設訪問、発表準備	東京
	12/21	金	最終発表	最終発表	東京